

平成 30 年及び令和元年労働者死傷病報告における
業務上腰痛の発生状況に関する報告書

令和 3 年 9 月

独立行政法人労働者健康安全機構

労働安全衛生総合研究所

目次

I. 解析の概要	1
II. 解析結果	3
II-1. 業種別	3
II-2. 都道府県別	4
II-3. 発生日時別	6
(1) 発生日別	6
(2) 発生日別	7
(3) 発生日別	8
II-4. 事業場規模別	9
II-5. 性別	10
II-6. 年齢別	11
II-7. 起因物別	13
II-8. 休業見込期間別	14
III. 総括	15
IV. 附表	16

I. 解析の概要

(1) 目的

休業 4 日以上をともなう負傷に起因する腰痛及び負傷によらない業務上の腰痛（以下、業務上腰痛と記載。）は、業務上疾病の約 6 割を占める状況にあり、労働者の安全及び健康を考える上で重要な問題となっている。本報告書では、業務上腰痛に共通する特徴を抽出して腰痛発生を予防することを目的として、労働者死傷病報告における業務上腰痛の発生状況について解析した結果を報告する。なお、本件は、厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課からの災害分析協力依頼に基づき、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所のプロジェクト研究「腰痛予防と持ち上げ重量に関する研究」（研究期間：令和 3～6 年度）において実施した。

(2) 解析対象

解析対象は、平成 30（2018）年及び令和元（2019）年において、全国の事業場から労働基準監督署に提出された労働者死傷病報告のうち、休業 4 日以上をともなう業務上腰痛の 10,208 件とした。そのうち、平成 30 年は 5,043 件、令和元年は 5,165 件であった。

解析対象項目は、電子データとして厚生労働省から提供された労働者死傷病報告の項目のうち、提出局（都道府県）、事業場の労働者数、災害発生日、災害発生時間、労働者の年齢（生年月日）、性別、休業見込期間、業種（大分類、中分類）、起因物とした。なお、労働者死傷病報告（休業 4 日以上）の様式に記された項目のうち、災害発生状況及び原因についての記述と発生時の状況を図示した略図は、提供された電子データに含まれていなかったことから、本解析には含まれていない。

(3) 解析方法

解析では、労働者死傷病報告の解析対象項目について単純集計及びクロス集計を行った。クロス集計では、業種（大分類、中分類）ごとに解析対象項目を集計した。また、総務省労働力調査の年平均（基本集計）における平成 30 年及び令和元年の就業者数をもとに、都道府県別、性別、年齢別の就業者 10 万人あたりの調整値も算出した。

なお、電子データには、労働者の氏名、性別、年齢（生年月日）、災害発生日が重複するデータが平成 30 年に 7 件、令和元年に 13 件の計 20 件認められた。本解析では、この重複データのうち、「派遣元」データの全項目を欠損値として扱った。また、一部派遣元及び派遣先の記載がないデータが見うけられたので、便宜上、先に提出されたデータの全項目を欠損値として扱った。さらに、平成 30 年及び令和元年において、年齢の入力データ（1 件）を確認して修正したほか、生年月日の誤記（1 件）を修正し、休業見込期間の誤記（3 件）を修正した。

(4) 解析担当者

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

人間工学研究グループ 部長 岩切 一幸

産業保健研究グループ 部長 佐々木 毅

産業保健研究グループ 上席研究員 三木 圭一

II. 解析結果

II-1. 業種別

表 1 に業種大分類別の業務上腰痛件数を示す。業種大分類別の業務上腰痛件数は、保健衛生業が 3,195 件 (31.3%) と最も多く、次いで商業が 1,688 件 (16.5%)、製造業が 1,527 件 (15.0%)、運輸交通業が 1,407 件 (13.8%) であった。

最も多かった保健衛生業をさらに業種中分類別にみると、社会福祉施設が 2,483 件 (全体の 24.3%)、医療保健業が 688 件 (同 6.7%)、その他の保健衛生業が 24 件 (同 0.2%) であった。

表 1 業種大分類別の業務上腰痛件数

業種 (大分類)	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
製造業	1,527	(15.0)	744	(14.8)	783	(15.2)
鉱業	7	(0.1)	2	(0.0)	5	(0.1)
建設業	364	(3.6)	172	(3.4)	192	(3.7)
運輸交通業	1,407	(13.8)	738	(14.6)	669	(13.0)
貨物取扱業	193	(1.9)	71	(1.4)	122	(2.4)
農林業	62	(0.6)	28	(0.6)	34	(0.7)
畜産・水産業	56	(0.5)	31	(0.6)	25	(0.5)
商業	1,688	(16.5)	855	(17.0)	833	(16.1)
金融・広告業	34	(0.3)	15	(0.3)	19	(0.4)
映画・演劇業	3	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.1)
通信業	128	(1.3)	78	(1.5)	50	(1.0)
教育・研究業	74	(0.7)	39	(0.8)	35	(0.7)
保健衛生業	3,195	(31.3)	1,537	(30.5)	1,658	(32.1)
接客娯楽業	549	(5.4)	252	(5.0)	297	(5.8)
清掃・と畜業	374	(3.7)	164	(3.3)	210	(4.1)
官公署	2	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.0)
その他の事業	525	(5.1)	310	(6.1)	215	(4.2)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

H30：平成30年、R1：平成31年/令和元年

以下の解析では、平成 30 年及び令和元年における業務上腰痛の全数に加え、件数が 1,000 件を超えている保健衛生業 (社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業)、商業、製造業、運輸交通業にも着目する。

II-2. 都道府県別

表 2 に都道府県別の業務上腰痛件数を示す。都道府県別の業務上腰痛件数は、東京都が 1,190 件 (11.7%) と最も多く、次いで神奈川県が 934 件 (9.1%)、大阪府が 757 件 (7.4%) であった。

図 1 に都道府県別の就業者 10 万人あたりの業務上腰痛件数を示す。都道府県別の就業者 10 万人あたりの業務上腰痛件数は、佐賀県が 12.5 件と最も多く、次いで岡山県が 11.0 件、和歌山県及び鹿児島県が 10.4 件であった。

表 2 都道府県別の業務上腰痛件数

都道府県	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年		都道府県	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)		件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
北海道	351	(3.4)	174	(3.5)	177	(3.4)	滋賀	90	(0.9)	51	(1.0)	39	(0.8)
青森	61	(0.6)	30	(0.6)	31	(0.6)	京都	147	(1.4)	88	(1.7)	59	(1.1)
岩手	107	(1.0)	50	(1.0)	57	(1.1)	大阪	757	(7.4)	363	(7.2)	394	(7.6)
宮城	138	(1.4)	69	(1.4)	69	(1.3)	兵庫	395	(3.9)	184	(3.6)	211	(4.1)
秋田	87	(0.9)	42	(0.8)	45	(0.9)	奈良	71	(0.7)	34	(0.7)	37	(0.7)
山形	86	(0.8)	47	(0.9)	39	(0.8)	和歌山	99	(1.0)	55	(1.1)	44	(0.9)
福島	107	(1.0)	48	(1.0)	59	(1.1)	鳥取	28	(0.3)	12	(0.2)	16	(0.3)
茨城	259	(2.5)	122	(2.4)	137	(2.7)	島根	46	(0.5)	18	(0.4)	28	(0.5)
栃木	107	(1.0)	50	(1.0)	57	(1.1)	岡山	210	(2.1)	118	(2.3)	92	(1.8)
群馬	197	(1.9)	90	(1.8)	107	(2.1)	広島	253	(2.5)	133	(2.6)	120	(2.3)
埼玉	684	(6.7)	327	(6.5)	357	(6.9)	山口	62	(0.6)	38	(0.8)	24	(0.5)
千葉	434	(4.3)	248	(4.9)	186	(3.6)	徳島	54	(0.5)	30	(0.6)	24	(0.5)
東京	1,190	(11.7)	611	(12.1)	579	(11.2)	香川	44	(0.4)	29	(0.6)	15	(0.3)
神奈川	934	(9.1)	471	(9.3)	463	(9.0)	愛媛	102	(1.0)	58	(1.2)	44	(0.9)
新潟	241	(2.4)	116	(2.3)	125	(2.4)	高知	69	(0.7)	23	(0.5)	46	(0.9)
富山	39	(0.4)	20	(0.4)	19	(0.4)	福岡	430	(4.2)	195	(3.9)	235	(4.5)
石川	100	(1.0)	42	(0.8)	58	(1.1)	佐賀	107	(1.0)	60	(1.2)	47	(0.9)
福井	42	(0.4)	19	(0.4)	23	(0.4)	長崎	91	(0.9)	43	(0.9)	48	(0.9)
山梨	65	(0.6)	31	(0.6)	34	(0.7)	熊本	83	(0.8)	39	(0.8)	44	(0.9)
長野	228	(2.2)	118	(2.3)	110	(2.1)	大分	81	(0.8)	38	(0.8)	43	(0.8)
岐阜	152	(1.5)	69	(1.4)	83	(1.6)	宮崎	83	(0.8)	35	(0.7)	48	(0.9)
静岡	326	(3.2)	145	(2.9)	181	(3.5)	鹿児島	167	(1.6)	82	(1.6)	85	(1.6)
愛知	507	(5.0)	240	(4.8)	267	(5.2)	沖縄	116	(1.1)	60	(1.2)	56	(1.1)
三重	161	(1.6)	71	(1.4)	90	(1.7)	欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
							合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

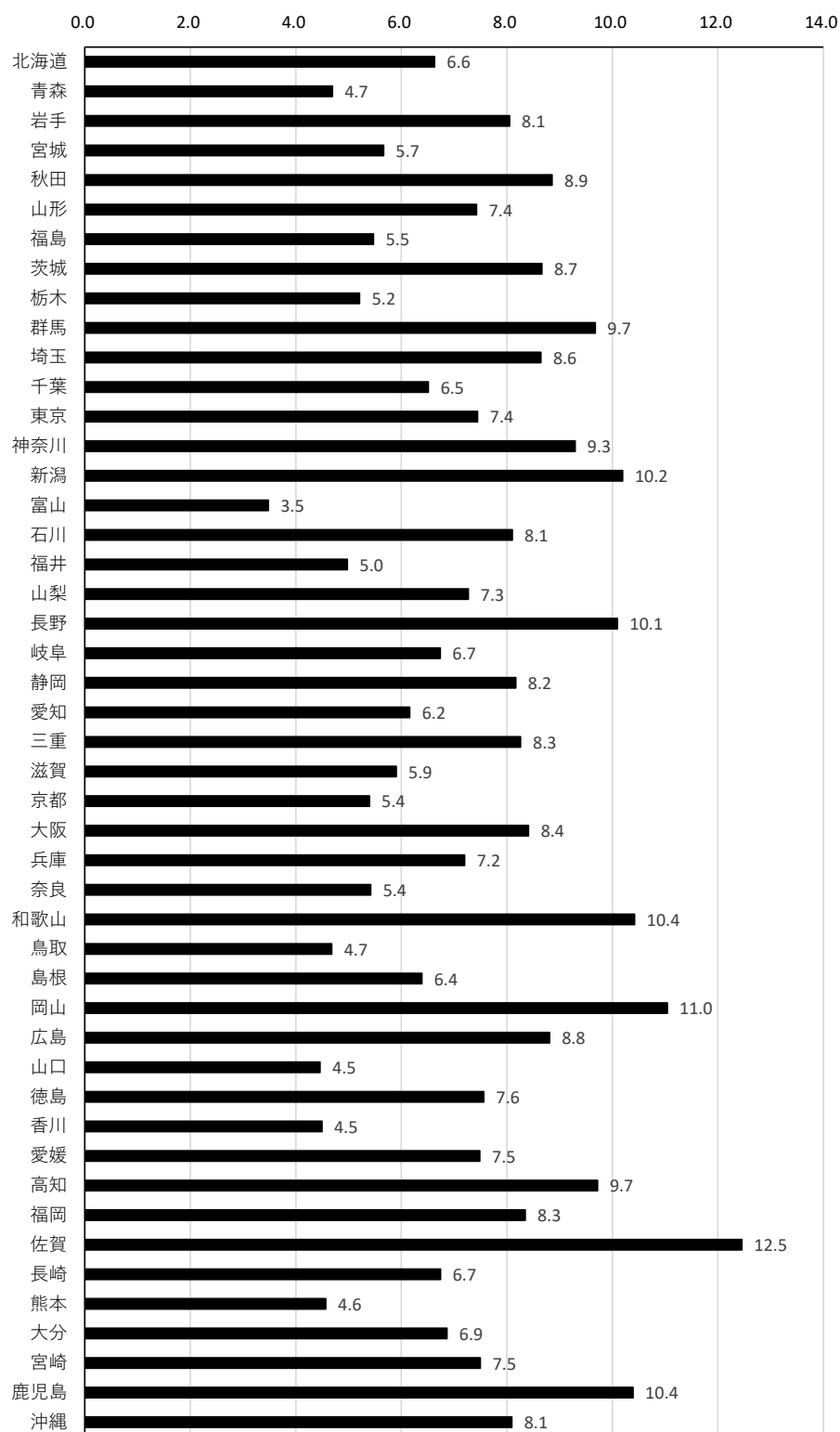


図1 都道府県別の就業者10万人あたりの業務上腰痛件数
 (総務省「労働力調査」の年平均(基本集計)における
 平成30年及び令和元年の就業者数を用いて算出)

Ⅱ-3. 発生日時別

(1) 発生月別

図2に発生月別の業務上腰痛件数を示す。発生月別の業務上腰痛件数は、8月が962件（9.4%）と最も多く、12月が689件（6.7%）と最も少なかった（附表1）。気温の低い11月、12月、1月において、業務上腰痛の発生は少なかった。

業種大分類ごとにみると（附表2）、発生月別の業務上腰痛件数は、保健衛生業では8月が339件（10.6%）と最も多く、12月が207件（6.5%）と最も少なかった。商業では、6月が163件（9.7%）と最も多く、12月が111件（6.6%）と最も少なかった。製造業では、10月が153件（10.0%）と最も多く、5月が96件（6.3%）と最も少なかった。運輸交通業では、10月が139件（9.9%）と最も多く、5月が92件（6.5%）と最も少なかった。業務上腰痛件数は、保健衛生業と商業では年末に少なく、製造業と運輸交通業ではゴールデンウィークのある5月に少なかった。

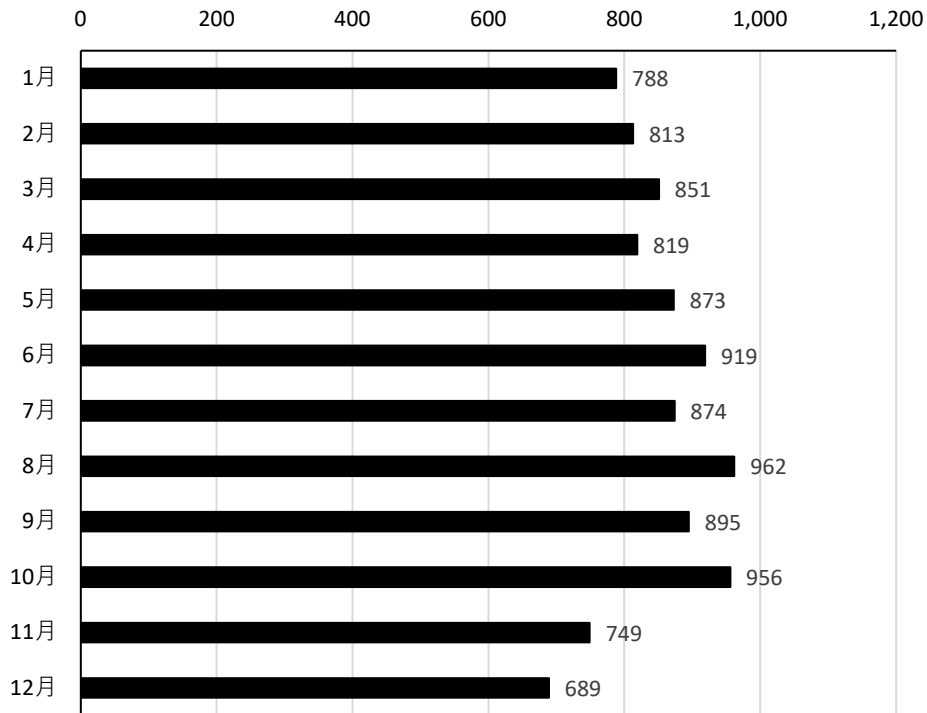


図2 発生月別の業務上腰痛件数

(2) 発生曜日別

図 3 に発生曜日別の業務上腰痛件数を示す。発生曜日別の業務上腰痛件数は、月曜日が 2,007 件 (19.7%) と最も多く、日曜日が 722 件 (7.1%) と最も少なかった (附表 3)。

業種大分類ごとにみても (附表 4)、保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における発生曜日別の業務上腰痛件数は、いずれも月曜日が最も多く、日曜日が最も少なかった。特に製造業では、業務上腰痛の 4 分の 1 が月曜日に発生していた。

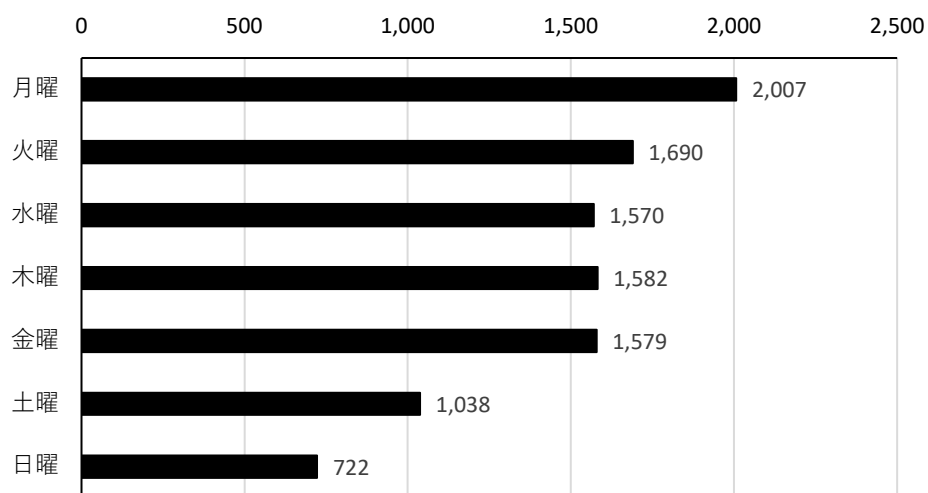


図 3 発生曜日別の業務上腰痛件数

(3) 発生時間別

図4に発生時間別の業務上腰痛件数を示す。発生時間別の業務上腰痛件数は、10時台が1,436件(14.1%)と最も多く、次いで11時台が1,335件(13.1%)、9時台が1,247件(12.2%)と多かった。午前中の9～12時の時間帯において約4割の業務上腰痛が発生していた(附表5)。

業種大分類ごとにみても(附表6)、保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における発生時間別の業務上腰痛件数は、いずれも午前中の9～12時の時間帯に多かった。

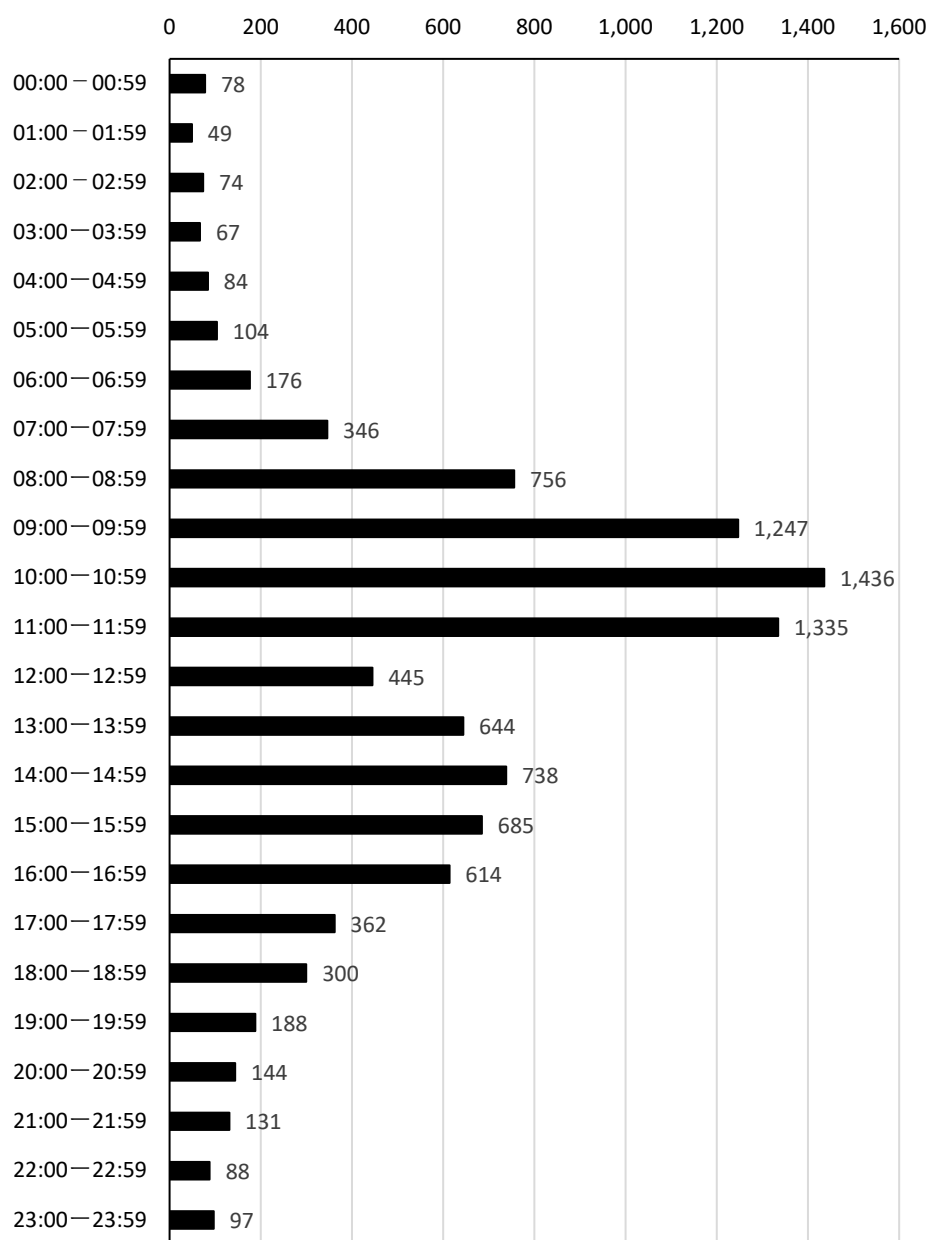


図4 発生時間別の業務上腰痛件数

Ⅱ-4. 事業場規模別

図 5 に事業場規模別の業務上腰痛件数を示す。事業場規模別の業務上腰痛件数は、労働者数 10-49 人が 3,666 件 (35.9%) と最も多く、次いで 100-299 人が 2,222 件 (21.8%)、50-99 人が 1,894 人 (18.6%) であった (附表 7)。

業種大分類ごとにみると (附表 8)、保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における事業場規模別の業務上腰痛件数は、いずれも 10-49 人が最も多かった。

さらに保健衛生業を業種中分類ごとにみると (附表 9)、社会福祉施設では 10-49 人が最も多く、医療保健業では 300 人以上が最も多かった。

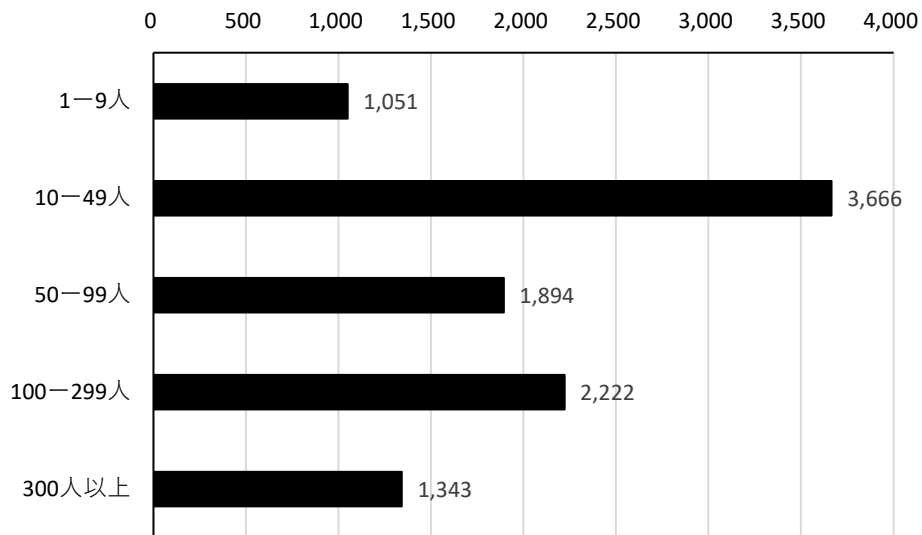


図 5 事業場規模別の業務上腰痛件数

II-5. 性別

表3に性別の業務上腰痛件数を示す。性別の業務上腰痛件数は、男性が5,637件(55.2%)、女性が4,551件(44.6%)であった。

図6に性別の就業者10万人あたりの業務上腰痛件数を示す。性別の同件数は、男性が7.6件、女性が7.7件であり、女性の方がわずかに多かった。

業種大分類ごとにみると(附表10)、保健衛生業では男性が885件(26.8%)、女性が2,340件(73.2%)、商業では男性が811件(48.0%)、女性が877件(52.0%)であり、女性の方が多かった。一方、製造業では男性が1,119件(73.3%)、女性が408件(26.7%)、運輸交通業では男性が1,196件(85.0%)、女性が211件(15.0%)であり、男性の方が多かった。

さらに保健衛生業を業種中分類ごとにみると(附表11)、社会福祉施設では男性が665件(26.8%)、女性が1,818件(73.2%)、医療保健業では男性が181件(26.3%)、女性が507件(73.7%)であり、社会福祉施設と医療保健業において男女比は同程度であった。

表3 性別の業務上腰痛件数

性	合計		H30(2018)年		R1(2019)年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
男	5,637	(55.2)	2,842	(56.4)	2,795	(54.1)
女	4,551	(44.6)	2,194	(43.5)	2,357	(45.6)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

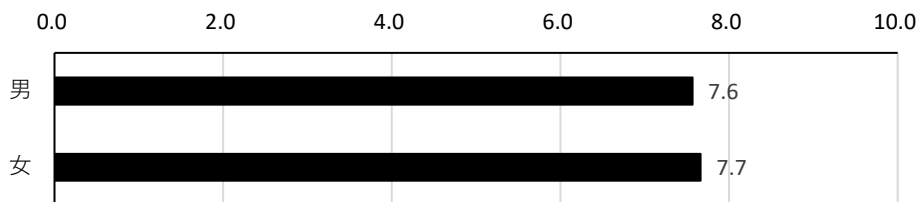


図6 性別の就業者10万人あたりの業務上腰痛件数
(総務省「労働力調査」の年平均(基本集計)における
平成30年及び令和元年の就業者数を用いて算出)

II-6. 年齢別

表4に年齢別の業務上腰痛件数を示す。年齢別の業務上腰痛件数は、45-49歳が1,372件(13.4%)と最も多く、次いで40-44歳が1,312件(12.9%)、35-39歳が1,304件(12.8%)、30-34歳が1,190件(11.7%)であった。

図7に年齢別の就業者10万人あたりの業務上腰痛件数を示す。年齢別の同件数は、30-34歳が10.3件と最も多く、次いで35-39歳が10.1件、25-29歳が9.7件、20-24歳が8.7件と30代が最も多く、次いで20代が多かった。

業種大分類ごとにみると(附表12)、保健衛生業では45-49歳が430件(13.5%)、商業では45-49歳が226件(13.4%)、製造業では35-39歳が234件(15.3%)、運輸交通業では45-49歳が208件(14.8%)と最も多かった。

さらに保健衛生業を業種中分類ごとにみると(附表13)、社会福祉施設では45-49歳が330件(13.3%)と最も多く、医療保健業では30-34歳が97件(14.1%)と最も多かった。

表4 年齢別の業務上腰痛件数

年齢	合計		H30(2018)年		R1(2019)年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
19歳以下	129	(1.3)	66	(1.3)	63	(1.2)
20-24歳	797	(7.8)	401	(8.0)	396	(7.7)
25-29歳	1,043	(10.2)	547	(10.8)	496	(9.6)
30-34歳	1,190	(11.7)	613	(12.2)	577	(11.2)
35-39歳	1,304	(12.8)	662	(13.1)	642	(12.4)
40-44歳	1,312	(12.9)	633	(12.6)	679	(13.1)
45-49歳	1,372	(13.4)	646	(12.8)	726	(14.1)
50-54歳	1,078	(10.6)	527	(10.5)	551	(10.7)
55-59歳	845	(8.3)	413	(8.2)	432	(8.4)
60-64歳	570	(5.6)	277	(5.5)	293	(5.7)
65歳以上	548	(5.4)	251	(5.0)	297	(5.8)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

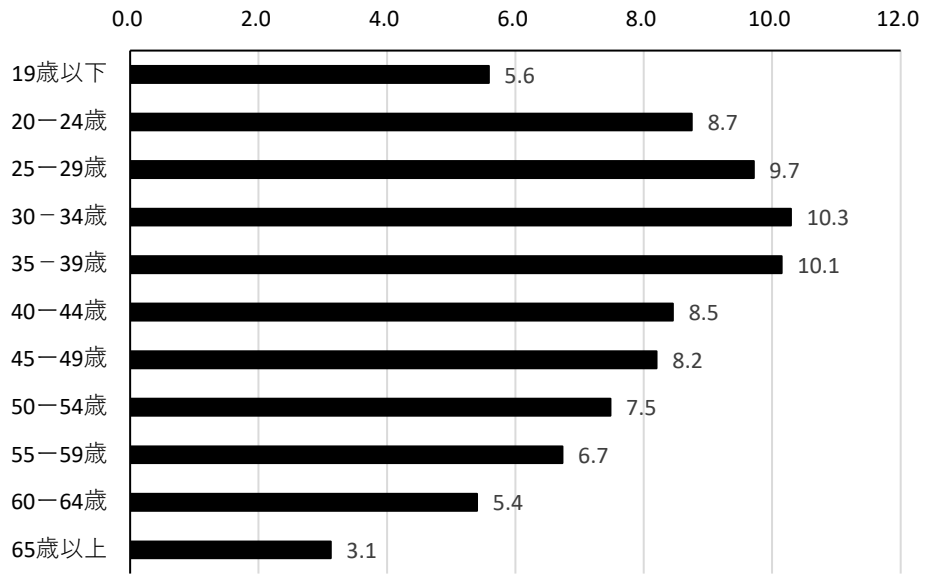


図7 年齢別の就業者10万人あたりの業務上腰痛件数
 (総務省「労働力調査」の年平均(基本集計)における
 平成30年及び令和元年の就業者数を用いて算出)

II-7. 起因物別

表 5 に起因物別の業務上腰痛件数を示す。起因物別の業務上腰痛件数は、起因物なし^{※1}が 4,827 件 (47.3%) と最も多く、次いで、荷姿の物が 2,710 件 (26.5%)、その他の起因物が 972 件 (9.5%) であった。

業種大分類ごとにみると (附表 14)、保健衛生業では起因物なしが 1,977 件 (61.9%)、商業では荷姿の物が 738 件 (43.7%)、製造業では起因物なしが 679 件 (44.5%)、運輸交通業では荷姿の物が 638 件 (45.3%) と最も多かった。

※1 起因物なし：災害発生の主因が人のみであり、作業面等及び加害物のいずれも該当しない場合

表 5 起因物別の業務上腰痛件数

起因物	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
その他の一般動力機械	19	(0.2)	5	(0.1)	14	(0.3)
トラック	56	(0.5)	32	(0.6)	24	(0.5)
乗用車、バス、バイク	61	(0.6)	29	(0.6)	32	(0.6)
その他の乗物	40	(0.4)	32	(0.6)	8	(0.2)
人力運搬機	162	(1.6)	78	(1.5)	84	(1.6)
手工具	25	(0.2)	13	(0.3)	12	(0.2)
はしご等	23	(0.2)	11	(0.2)	12	(0.2)
その他の用具	245	(2.4)	119	(2.4)	126	(2.4)
その他の装置、設備	141	(1.4)	62	(1.2)	79	(1.5)
階段、栈橋	33	(0.3)	18	(0.4)	15	(0.3)
作業床、歩み板	22	(0.2)	10	(0.2)	12	(0.2)
通路	56	(0.5)	30	(0.6)	26	(0.5)
建築物、構築物	20	(0.2)	12	(0.2)	8	(0.2)
その他の仮設物、建築物、構築物等	44	(0.4)	26	(0.5)	18	(0.3)
金属材料	151	(1.5)	73	(1.4)	78	(1.5)
木材、竹材	42	(0.4)	19	(0.4)	23	(0.4)
石、砂、砂利	20	(0.2)	12	(0.2)	8	(0.2)
その他の材料	77	(0.8)	37	(0.7)	40	(0.8)
荷姿の物	2,710	(26.5)	1,428	(28.3)	1,282	(24.8)
機械装置	113	(1.1)	63	(1.2)	50	(1.0)
その他の環境等	204	(2.0)	107	(2.1)	97	(1.9)
その他の起因物	972	(9.5)	432	(8.6)	540	(10.5)
起因物なし	4,827	(47.3)	2,325	(46.1)	2,502	(48.4)
分類不能	31	(0.3)	18	(0.4)	13	(0.3)
少数件数を合算した項目 ^{※2}	94	(0.9)	45	(0.9)	49	(0.9)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

※2：H30及びR1の合計件数が10件未満である36項目の合算値

Ⅱ－8. 休業見込期間別

図8に休業見込期間別の業務上腰痛件数を示す。休業見込期間別の業務上腰痛件数は、4－7日が3,016件(29.5%)と最も多く、次いで8－14日が2,976件(29.2%)であった(附表15)。業務上腰痛件数は、2週間以内の休業見込期間が6割近くを占めており、また1か月を超える休業見込期間も一定数あった。

業種大分類ごとにみると(附表16)、保健衛生業では8－14日が935件(29.3%)、商業では4－7日が583件(34.5%)、製造業でも4－7日が543件(35.6%)、運輸交通業では8－14日が440件(31.3%)と最も多かった。

さらに保健衛生業を業種中分類ごとにみると(附表17)、社会福祉施設及び医療保健業において8－14日が最も多かった。

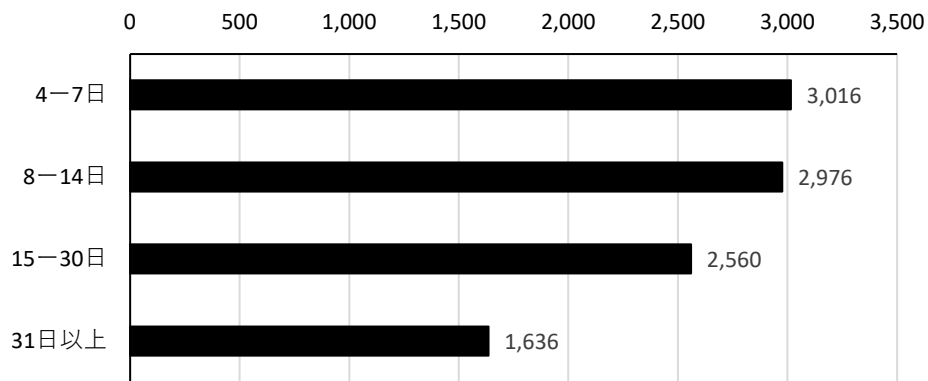


図8 休業見込期間別の業務上腰痛件数

Ⅲ. 総括

以下に、平成 30 年及び令和元年の業務上腰痛件数の特徴を示す。

- ・ 業種大分類別では、保健衛生業が 3 割超と突出して多く、次いで商業、製造業、運輸交通業と多かった。さらに保健衛生業を業種中分類別にみると、社会福祉施設は全体の約 2.5 割を占めており、介護労働者の腰痛が多発していた。
- ・ 都道府県別では、就業者 10 万人あたりで見ると、佐賀県が最も多く、次いで岡山県、和歌山県及び鹿児島県と多かった。
- ・ 発生月別では、気温の低い 11 月～1 月に発生が少なかった。さらに業種大分類ごとにみると、保健衛生業と商業では年末に少なく、製造業と運輸交通業ではゴールデンウィークのある 5 月に少なかった。
- ・ 発生曜日別では、休日明けの月曜日が約 2 割と最も多く、休日の日曜日が 1 割未満と最も少なかった。
- ・ 発生時間別では、午前中の 9～12 時の時間帯において約 4 割の業務上腰痛が発生していた。
- ・ 事業場規模別では、労働者数 10～49 人が最も多く、次いで 100～299 人が多かった。業種中分類ごとにみると、社会福祉施設では 10～49 人が最も多く、医療保健業では 300 人以上が最も多かった。産業医や衛生管理者の選任義務のない 10～49 人の事業場において業務上腰痛が多発していた。
- ・ 性別では、就業者 10 万人あたりで見ると、女性の方が男性に比べてわずかに多かった。業種大分類ごとにみると、保健衛生業及び商業では女性が多く、製造業及び運輸交通業では男性が多かった。
- ・ 年齢別では、就業者 10 万人あたりで見ると、30 代が最も多く、次いで 20 代が多かった。
- ・ 起因物別では、起因物なしが約半数と最も多く、次いで荷姿の物、その他の起因物と多かった。
- ・ 休業見込期間別では、2 週間以内が約 6 割を占めており、また 1 か月を超える休業見込期間も一定数あった。業種大分類及び業種中分類ごとにみても、同様の傾向であった。

IV. 附表

- ・ 附表 1 発生月別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 2 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における発生月別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 3 発生曜日別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 4 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における発生曜日別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 5 発生時間別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 6 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における発生時間別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 7 事業場規模別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 8 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における事業場規模別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 9 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における事業場規模別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 10 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における性別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 11 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における性別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 12 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における年齢別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 13 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における年齢別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 14 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における起因物別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 15 休業見込期間別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 16 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における休業見込期間別の業務上腰痛件数
- ・ 附表 17 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における休業見込期間別の業務上腰痛件数

附表1 発生月別の業務上腰痛件数

月	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1月	788	(7.7)	382	(7.6)	406	(7.9)
2月	813	(8.0)	392	(7.8)	421	(8.2)
3月	851	(8.3)	410	(8.1)	441	(8.5)
4月	819	(8.0)	425	(8.4)	394	(7.6)
5月	873	(8.6)	440	(8.7)	433	(8.4)
6月	919	(9.0)	466	(9.2)	453	(8.8)
7月	874	(8.6)	397	(7.9)	477	(9.2)
8月	962	(9.4)	487	(9.7)	475	(9.2)
9月	895	(8.8)	452	(9.0)	443	(8.6)
10月	956	(9.4)	489	(9.7)	467	(9.0)
11月	749	(7.3)	375	(7.4)	374	(7.2)
12月	689	(6.7)	321	(6.4)	368	(7.1)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

附表2 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
発生月別の業務上腰痛件数

月	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1月	243	(7.6)	148	(8.8)	111	(7.3)	114	(8.1)
2月	254	(7.9)	129	(7.6)	129	(8.4)	119	(8.5)
3月	251	(7.9)	139	(8.2)	125	(8.2)	116	(8.2)
4月	257	(8.0)	150	(8.9)	134	(8.8)	111	(7.9)
5月	313	(9.8)	159	(9.4)	96	(6.3)	92	(6.5)
6月	265	(8.3)	163	(9.7)	146	(9.6)	113	(8.0)
7月	271	(8.5)	131	(7.8)	143	(9.4)	123	(8.7)
8月	339	(10.6)	150	(8.9)	128	(8.4)	125	(8.9)
9月	270	(8.5)	136	(8.1)	147	(9.6)	121	(8.6)
10月	295	(9.2)	159	(9.4)	153	(10.0)	139	(9.9)
11月	230	(7.2)	113	(6.7)	117	(7.7)	119	(8.5)
12月	207	(6.5)	111	(6.6)	98	(6.4)	115	(8.2)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表 3 発生曜日別の業務上腰痛件数

曜日	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
月曜	2,007	(19.7)	984	(19.5)	1,023	(19.8)
火曜	1,690	(16.6)	823	(16.3)	867	(16.8)
水曜	1,570	(15.4)	796	(15.8)	774	(15.0)
木曜	1,582	(15.5)	771	(15.3)	811	(15.7)
金曜	1,579	(15.5)	813	(16.1)	766	(14.8)
土曜	1,038	(10.2)	493	(9.8)	545	(10.6)
日曜	722	(7.1)	356	(7.1)	366	(7.1)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

附表 4 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
発生曜日別の業務上腰痛件数

曜日	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
月曜	577	(18.1)	308	(18.2)	381	(25.0)	287	(20.4)
火曜	513	(16.1)	293	(17.4)	254	(16.6)	238	(16.9)
水曜	466	(14.6)	254	(15.0)	249	(16.3)	243	(17.3)
木曜	505	(15.8)	242	(14.3)	257	(16.8)	217	(15.4)
金曜	527	(16.5)	257	(15.2)	233	(15.3)	185	(13.1)
土曜	344	(10.8)	189	(11.2)	108	(7.1)	146	(10.4)
日曜	263	(8.2)	145	(8.6)	45	(2.9)	91	(6.5)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表 5 発生時間別の業務上腰痛件数

発生時間	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
00:00-00:59	78	(0.8)	33	(0.7)	45	(0.9)
01:00-01:59	49	(0.5)	25	(0.5)	24	(0.5)
02:00-02:59	74	(0.7)	38	(0.8)	36	(0.7)
03:00-03:59	67	(0.7)	30	(0.6)	37	(0.7)
04:00-04:59	84	(0.8)	48	(1.0)	36	(0.7)
05:00-05:59	104	(1.0)	55	(1.1)	49	(0.9)
06:00-06:59	176	(1.7)	93	(1.8)	83	(1.6)
07:00-07:59	346	(3.4)	179	(3.5)	167	(3.2)
08:00-08:59	756	(7.4)	379	(7.5)	377	(7.3)
09:00-09:59	1,247	(12.2)	614	(12.2)	633	(12.3)
10:00-10:59	1,436	(14.1)	669	(13.3)	767	(14.8)
11:00-11:59	1,335	(13.1)	656	(13.0)	679	(13.1)
12:00-12:59	445	(4.4)	237	(4.7)	208	(4.0)
13:00-13:59	644	(6.3)	302	(6.0)	342	(6.6)
14:00-14:59	738	(7.2)	357	(7.1)	381	(7.4)
15:00-15:59	685	(6.7)	363	(7.2)	322	(6.2)
16:00-16:59	614	(6.0)	295	(5.8)	319	(6.2)
17:00-17:59	362	(3.5)	192	(3.8)	170	(3.3)
18:00-18:59	300	(2.9)	144	(2.9)	156	(3.0)
19:00-19:59	188	(1.8)	101	(2.0)	87	(1.7)
20:00-20:59	144	(1.4)	65	(1.3)	79	(1.5)
21:00-21:59	131	(1.3)	65	(1.3)	66	(1.3)
22:00-22:59	88	(0.9)	44	(0.9)	44	(0.9)
23:00-23:59	97	(1.0)	52	(1.0)	45	(0.9)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

附表 6 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
発生時間別の業務上腰痛件数

発生時間	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
00:00-00:59	12	(0.4)	8	(0.5)	18	(1.2)	11	(0.8)
01:00-01:59	9	(0.3)	10	(0.6)	5	(0.3)	12	(0.9)
02:00-02:59	16	(0.5)	9	(0.5)	10	(0.7)	20	(1.4)
03:00-03:59	16	(0.5)	10	(0.6)	9	(0.6)	17	(1.2)
04:00-04:59	21	(0.7)	14	(0.8)	15	(1.0)	17	(1.2)
05:00-05:59	42	(1.3)	21	(1.2)	3	(0.2)	20	(1.4)
06:00-06:59	52	(1.6)	31	(1.8)	12	(0.8)	49	(3.5)
07:00-07:59	117	(3.7)	74	(4.4)	39	(2.6)	47	(3.3)
08:00-08:59	231	(7.2)	126	(7.5)	125	(8.2)	123	(8.7)
09:00-09:59	377	(11.8)	217	(12.9)	235	(15.4)	137	(9.7)
10:00-10:59	522	(16.3)	221	(13.1)	228	(14.9)	154	(10.9)
11:00-11:59	442	(13.8)	189	(11.2)	217	(14.2)	155	(11.0)
12:00-12:59	147	(4.6)	105	(6.2)	44	(2.9)	66	(4.7)
13:00-13:59	189	(5.9)	109	(6.5)	96	(6.3)	87	(6.2)
14:00-14:59	251	(7.9)	108	(6.4)	119	(7.8)	82	(5.8)
15:00-15:59	206	(6.4)	126	(7.5)	97	(6.4)	89	(6.3)
16:00-16:59	156	(4.9)	117	(6.9)	97	(6.4)	82	(5.8)
17:00-17:59	108	(3.4)	58	(3.4)	47	(3.1)	49	(3.5)
18:00-18:59	105	(3.3)	55	(3.3)	19	(1.2)	62	(4.4)
19:00-19:59	62	(1.9)	35	(2.1)	19	(1.2)	29	(2.1)
20:00-20:59	43	(1.3)	17	(1.0)	16	(1.0)	29	(2.1)
21:00-21:59	28	(0.9)	17	(1.0)	21	(1.4)	33	(2.3)
22:00-22:59	21	(0.7)	8	(0.5)	18	(1.2)	18	(1.3)
23:00-23:59	22	(0.7)	3	(0.2)	18	(1.2)	19	(1.4)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表7 事業場規模別の業務上腰痛件数

労働者数	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1-9人	1,051	(10.3)	529	(10.5)	522	(10.1)
10-49人	3,666	(35.9)	1,767	(35.0)	1,899	(36.8)
50-99人	1,894	(18.6)	931	(18.5)	963	(18.6)
100-299人	2,222	(21.8)	1,114	(22.1)	1,108	(21.5)
300人以上	1,343	(13.2)	695	(13.8)	648	(12.5)
欠損	32	(0.3)	7	(0.1)	25	(0.5)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

附表8 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
事業場規模別の業務上腰痛件数

労働者数	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1-9人	122	(3.8)	246	(14.6)	147	(9.6)	84	(6.0)
10-49人	1,108	(34.7)	598	(35.4)	515	(33.7)	539	(38.3)
50-99人	767	(24.0)	310	(18.4)	233	(15.3)	282	(20.0)
100-299人	798	(25.0)	363	(21.5)	332	(21.7)	365	(25.9)
300人以上	394	(12.3)	169	(10.0)	300	(19.6)	136	(9.7)
欠損	6	(0.2)	2	(0.1)	0	(0.0)	1	(0.1)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表9 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における
事業場規模別の業務上腰痛件数

労働者数	社会福祉施設		医療保健業		その他の保健衛生業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
1-9人	104	(4.2)	16	(2.3)	2	(8.3)
10-49人	1,043	(42.0)	53	(7.7)	12	(50.0)
50-99人	701	(28.2)	61	(8.9)	5	(20.8)
100-299人	515	(20.7)	278	(40.4)	5	(20.8)
300人以上	115	(4.6)	279	(40.6)	0	(0.0)
欠損	5	(0.2)	1	(0.1)	0	(0.0)
合計	2,483	(100.0)	688	(100.0)	24	(100.0)

附表 10 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
性別の業務上腰痛件数

性	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
男	855	(26.8)	811	(48.0)	1,119	(73.3)	1,196	(85.0)
女	2,340	(73.2)	877	(52.0)	408	(26.7)	211	(15.0)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表 11 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における
性別の業務上腰痛件数

性	社会福祉施設		医療保健業		その他の保健衛生業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
男	665	(26.8)	181	(26.3)	9	(37.5)
女	1,818	(73.2)	507	(73.7)	15	(62.5)
合計	2,483	(100.0)	688	(100.0)	24	(100.0)

附表 12 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
年齢別の業務上腰痛件数

年齢	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
19歳以下	27	(0.8)	37	(2.2)	19	(1.2)	14	(1.0)
20-24歳	234	(7.3)	156	(9.2)	103	(6.7)	84	(6.0)
25-29歳	343	(10.7)	145	(8.6)	195	(12.8)	126	(9.0)
30-34歳	386	(12.1)	188	(11.1)	194	(12.7)	131	(9.3)
35-39歳	394	(12.3)	216	(12.8)	234	(15.3)	162	(11.5)
40-44歳	397	(12.4)	216	(12.8)	205	(13.4)	202	(14.4)
45-49歳	430	(13.5)	226	(13.4)	210	(13.8)	208	(14.8)
50-54歳	341	(10.7)	173	(10.2)	158	(10.3)	206	(14.6)
55-59歳	286	(9.0)	140	(8.3)	98	(6.4)	128	(9.1)
60-64歳	178	(5.6)	111	(6.6)	63	(4.1)	80	(5.7)
65歳以上	179	(5.6)	80	(4.7)	48	(3.1)	66	(4.7)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表 13 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における
年齢別の業務上腰痛件数

年齢	社会福祉施設		医療保健業		その他の保健衛生業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
19歳以下	23	(0.9)	4	(0.6)	0	(0.0)
20-24歳	178	(7.2)	56	(8.1)	0	(0.0)
25-29歳	260	(10.5)	81	(11.8)	2	(8.3)
30-34歳	286	(11.5)	97	(14.1)	3	(12.5)
35-39歳	303	(12.2)	87	(12.6)	4	(16.7)
40-44歳	305	(12.3)	90	(13.1)	2	(8.3)
45-49歳	330	(13.3)	92	(13.4)	8	(33.3)
50-54歳	261	(10.5)	78	(11.3)	2	(8.3)
55-59歳	232	(9.3)	52	(7.6)	2	(8.3)
60-64歳	159	(6.4)	19	(2.8)	0	(0.0)
65歳以上	146	(5.9)	32	(4.7)	1	(4.2)
合計	2,483	(100.0)	688	(100.0)	24	(100.0)

附表 14 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
起因物別の業務上腰痛件数

起因物	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
その他の一般動力機械	1	(0.0)	1	(0.1)	6	(0.4)	0	(0.0)
トラック	0	(0.0)	7	(0.4)	3	(0.2)	33	(2.3)
乗用車、バス、バイク	7	(0.2)	10	(0.6)	4	(0.3)	23	(1.6)
その他の乗物	1	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	37	(2.6)
人力運搬機	34	(1.1)	38	(2.3)	22	(1.4)	40	(2.8)
手工具	3	(0.1)	1	(0.1)	10	(0.7)	4	(0.3)
はしご等	2	(0.1)	2	(0.1)	8	(0.5)	0	(0.0)
その他の用具	35	(1.1)	46	(2.7)	36	(2.4)	41	(2.9)
その他の装置、設備	31	(1.0)	22	(1.3)	15	(1.0)	9	(0.6)
階段、栈橋	5	(0.2)	7	(0.4)	4	(0.3)	8	(0.6)
作業床、歩み板	6	(0.2)	1	(0.1)	6	(0.4)	4	(0.3)
通路	7	(0.2)	10	(0.6)	10	(0.7)	14	(1.0)
建築物、構築物	2	(0.1)	3	(0.2)	3	(0.2)	2	(0.1)
その他の仮設物、建築物、構築物等	4	(0.1)	8	(0.5)	9	(0.6)	9	(0.6)
金属材料	0	(0.0)	14	(0.8)	83	(5.4)	14	(1.0)
木材、竹材	0	(0.0)	8	(0.5)	14	(0.9)	2	(0.1)
石、砂、砂利	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(0.3)	0	(0.0)
その他の材料	0	(0.0)	11	(0.7)	31	(2.0)	7	(0.5)
荷姿の物	99	(3.1)	738	(43.7)	507	(33.2)	638	(45.3)
機械装置	4	(0.1)	24	(1.4)	22	(1.4)	20	(1.4)
その他の環境等	159	(5.0)	7	(0.4)	1	(0.1)	4	(0.3)
その他の起因物	789	(24.7)	44	(2.6)	27	(1.8)	26	(1.8)
起因物なし	1,977	(61.9)	672	(39.8)	679	(44.5)	458	(32.6)
分類不能	27	(0.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
少数件数を合算した項目※	2	(0.1)	14	(0.8)	23	(1.5)	14	(1.0)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

※：H30及びR1の合計件数が10件未満である36項目の合算値

附表 15 休業見込期間別の業務上腰痛件数

日数	合計		H30 (2018) 年		R1 (2019) 年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
4-7日	3,016	(29.5)	1,531	(30.4)	1,485	(28.8)
8-14日	2,976	(29.2)	1,501	(29.8)	1,475	(28.6)
15-30日	2,560	(25.1)	1,242	(24.6)	1,318	(25.5)
31日以上	1,636	(16.0)	762	(15.1)	874	(16.9)
欠損	20	(0.2)	7	(0.1)	13	(0.3)
合計	10,208	(100.0)	5,043	(100.0)	5,165	(100.0)

附表 16 保健衛生業、商業、製造業、運輸交通業における
休業見込期間別の業務上腰痛件数

日数	保健衛生業		商業		製造業		運輸交通業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
4-7日	848	(26.5)	583	(34.5)	543	(35.6)	372	(26.4)
8-14日	935	(29.3)	485	(28.7)	432	(28.3)	440	(31.3)
15-30日	808	(25.3)	376	(22.3)	360	(23.6)	384	(27.3)
31日以上	604	(18.9)	244	(14.5)	192	(12.6)	211	(15.0)
合計	3,195	(100.0)	1,688	(100.0)	1,527	(100.0)	1,407	(100.0)

附表 17 社会福祉施設、医療保健業、その他の保健衛生業における
休業見込期間別の業務上腰痛件数

日数	社会福祉施設		医療保健業		その他の保健衛生業	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
4-7日	656	(26.4)	182	(26.5)	10	(41.7)
8-14日	726	(29.2)	207	(30.1)	2	(8.3)
15-30日	627	(25.3)	173	(25.1)	8	(33.3)
31日以上	474	(19.1)	126	(18.3)	4	(16.7)
合計	2,483	(100.0)	688	(100.0)	24	(100.0)